

Withコロナ時代のMICE開催のための ガイドライン

2020年7月22日（水）

一般社団法人日本コンベンション協会



（株）セントラルコンベンションサービス 宇佐美 克之

1. 協会概要

団体名	一般社団法人 日本コンベンション協会 (JCMA) 英語表記 : Japan Convention Management Association (JCMA)
設 立	2015年4月1日 ※(一社)日本PCO協会 (JAPCO)と (一社)日本コンベンション事業協会 (CPA) とが合併して設立
会員数	244会員 (2020年6月現在)
相談役	船山 龍二 (JTB相談役)
代表理事	近浪 弘武
副代表理事	武内 紀子
ビジョン	グローバル経済と世界平和への貢献
目標と活動	・ 政府への提言 ・ 人材育成 ・ 会員交流 ・ 団体交流 ・ 若い世代・女性の活躍・交流・支援 etc.



目標と活動

コンベンション事業分野の確立と業界の発展を目指して

- 政府への提言 ○ 人材育成 ○ 会員交流
- 団体交流 ○ 若い世代・女性の活躍・交流・支援 etc.

<業種>

◆企画・運営	47	◆シンクタンク・コンサル	4	◆レンタル	9
◆印刷・デザイン	10	◆人材サービス	6	◆コンベンション施設	14
◆映像・音響・照明	29	◆通訳・翻訳	6	◆コンベンションビューロー	48
◆ケータリング	9	◆ディスプレイ	12	◆アカデミア会員	3
◆広告	1	◆ホテル	10	◆行政機関	3
◆情報・システム	13	◆旅行・運輸・物流	8	◆その他	12

244会員（2020年6月現在）



活動の成果

1. **MICE再開へ向けた「新型コロナウイルス感染症禍におけるMICE開催のためのガイドライン」の策定・公開-2020年6月**
一刻も早いMICE再開へ向け、主催者に対するMICE開催のためのガイドラインを策定し公開
2. **「新型コロナウイルス感染症禍後の「JAPAN MICE is BACK」のための緊急提言」を観光庁長官へ手交-2020年6月3日**
ポストコロナにおける『JAPAN MICE is BACK』のための施策を、「5本の矢」として緊急提言
3. **「新型コロナウイルス感染症により、MICE業界が受けている影響とそれに対する支援策の要望」を観光庁及び官邸へ提出-2020年3月**
コロナ禍を受ける会員への緊急アンケートを元に、MICE業界の現状と支援策を要望
4. **『MICE国際競争力強化に関する提言』を観光庁長官へ手交-2018年7月**
MICE立国日本の実現のための3点の取組みについて提言
5. **『国際会議の経済波及効果調査（初算出）』で観光庁へ協力-2016年度**
算出結果：2015年国際会議開催で5,905億円、雇用創出効果54,000人
6. **国際会議参加者のためのファーストレーン設置に寄与(成田、関西)-2015年度**
利用条件に「JCMA会員（企画・運営業種）が参加者を取りまとめて申請する方法」が採用された

人材育成委員会

プロフェッショナルな人材育成と人材の発掘・勧誘

勉強会「MICEにおける危機管理」

(2019年9月5日)

目白大学教授 岡星竜実 氏

オリパラ組織委員会警備局長 岩下剛 氏



講演1の岡星先生



岡星先生の講演の様子



講演2の岩下様



岩下様の講演の様子

スキルアップセミナー

「急速に変化するイベント・テクノロジー」

(2020年1月23日)



株式会社ブレイブソフト
イベントスグロース事業部部長
岡慶彦 氏



セミナーの様子



会員交流委員会

交流ボウリング大会、茶道を楽しむ会、意見交換会等、会員交流を推進



会員交流ボーリング大会（2019年7月3日）



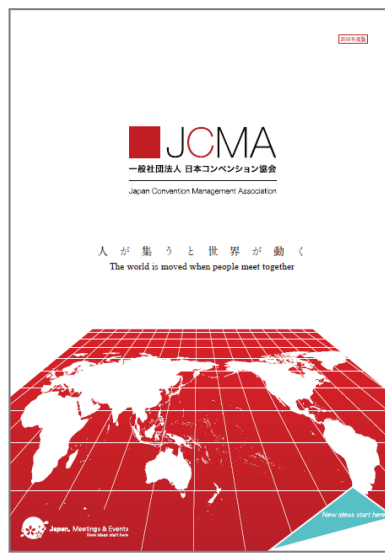
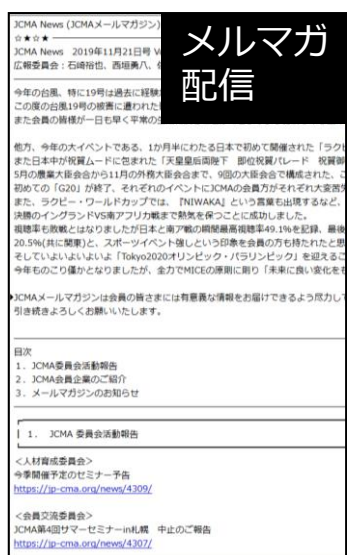
日本文化体験：茶道を楽しむ会（2019年11月19日）



中間総会意見交換会（2019年12月17日）

広報委員会

取材、PR活動、Web更新、メールマガジン配信、各種製作物



国際交流推進委員会

海外のコンベンション・MICE団体との交流、MOU締結



MACEOS幹部との会談および記念写真
(2019年12月4日)



ICCA APペナン大会のパーティーで
日本からの参加者と
(2019年12月6日)



<TAITRA、TECA : 台湾>
MOU調印式 (2018年7月12日)

女性委員会

MICE産業に従事する女性のネットワーキング、イベント

シンガポールMICE事情視察

(2016年11月20~23日) 18名参加



トークショー&ディナー (2019年11月28日)



講師：千代里先生
(元新橋芸者エッセイスト)



次世代委員会

未来を担う次世代が「交流」「育成」「提言」を主軸に活動

技能取得講習会（ユニバーサルマナー検定）

（2019年12月5日）



株式会社ミライロ
薄葉幸恵 氏



勉強会：ロジカルシンキング、カルシキングとセルフブランディング
（2018年3月16日）

総務委員会

6つの事業を行う委員会を横断的に支援・協力し、事務局と連携して協会を運営



社員総会（2019年6月11日）



観光庁へ提言を提出（2020年）



総務委員会（2020年6月23日）

2. ガイドライン、そもそも何のために作ったのか？

MICE再開のために欠かせないではないか！と提言

新型コロナウイルス感染症禍後の
「JAPAN MICE is BACK」のための
緊急提言

2020年6月3日（水）

一般社団法人日本コンベンション協会



6月3日（水） 観光庁長官へ提出
<https://jp-cma.org/news/5114/>

1. 安全・安心なMICEを提供するための「MICE開催ガイドライン」策定、実施、訴求への、積極的、主体的関与
2. 展示会、イベント等と一体となった、MICE全体の緊急支援対策「Go To MICE キャンペーン」の実施
3. 主催者のMICE開催意欲の喚起
4. JAPAN MICEのV字回復を期した戦略
5. 東京オリンピック・パラリンピック延期による影響をゼロに

新型コロナウイルス感染症禍におけるMICE開催のためのガイドライン 第2版

新型コロナウイルス感染症禍における
MICE 開催のためのガイドライン
第 2 版

2020 年 7 月 6 日

一般社団法人日本コンベンション協会



「JCMA」 サイトにて公開中

<https://jp-cma.org/news/5146/>



専門家チェック を経た確定版として、 7月『内閣官房』サイト 公開！

<https://www.cas.go.jp/>
「業種別ガイドライン」
一覧に掲載

新型コロナウイルス感染症対策 JP | EN 内閣官房
Cabinet Secretariat

トップページ | 最新情報 | 各種支援・行政の取組み | スマートライフのために | 各種データ | 対策本部等資料

新型コロナウイルス感染症に伴う各種支援のご案内 [詳しくはこちら](#)

困りごとに対する支援策が探せる支援情報ナビ [詳しくはこちら](#)

業種ごとの感染拡大予防ガイドライン一覧 [詳しくはこちら](#)

コロナ対応に関連した社会貢献活動への寄附をお考えの方へ [詳しくはこちら](#)

引き続き新型コロナウイルス感染拡大の防止にご協力ください

5月25日、緊急事態が終了した旨宣言されました。

段階的に社会経済の活動レベルを引き上げていきます。
新しい生活様式・スマートライフを定着させ、
感染拡大防止と経済再生の両立を図っていきます。

緊急事態解除宣言の概要は[こちら](#)
基本的対処方針は[こちら](#)
新型コロナウイルス感染症対策本部関連資料等は[こちら](#)
総理の発言は[こちら](#)

業種別ガイドラインについて 令和2年6月8日18時 更新

	業 種	団 体 名	担当省庁名	ガイドライン掲載URL
1		公益社団法人 全国公立文化施設協会	文部科学省	https://www.zenkokuhui.jp/info/2020/pdf/0514covid_19.pdf
2		全国興行生活衛生同業組合連合会（映画館）	厚生労働省	https://www.zenkoken.or.jp/news/pdf/0514_COVID-19_guideline.pdf
3		全国興行生活衛生同業組合連合会（演芸場）	厚生労働省	https://www.zenkoken.or.jp/news/pdf/0521_COVID-19_guideline.pdf
4	①劇場、観覧場、映画館、演芸場	一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 一般社団法人 日本音楽事業者協会 一般社団法人 日本音楽制作者連盟	経済産業省 文部科学省	http://www.aspa.or.jp/pdf/COVID-19_20200527_01.pdf http://www.jamc.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2020/05/covid-19_guideline20200525.pdf
5		クラシック音楽公演運営推進協議会	文部科学省	6月中旬公表予定
6		緊急事態舞台芸術ネットワーク	文部科学省	6月中旬公表予定
7	②集会場、公会堂	公益社団法人 全国公民館連合会	文部科学省	https://www.komickan.or.jp/files/all/2020/20200514_02guide.pdf
8	③展示場	一般社団法人 日本展示会協会	経済産業省	6月上旬公表予定
9		公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会	文部科学省	https://www.japan-sports.or.jp/news/taiid97.htm?itemid=1156 https://www.jamc.or.jp/news/detail/20200515_002154.html
10		公益社団法人 日本プロサッカーリーグ	文部科学省	https://www.jleague.jp/relnews/rel-news/2020/05/0524/038298c88260d4524a435c8556.pdf
11		一般社団法人 日本女子サッカーリーグ	文部科学省	https://www.nadeshikileague.jp/news/upload_file/covid_19_guideline.pdf
12		一般社団法人 日本ゴルフ場経営者協会 公益社団法人 日本バブルックゴルフ協会	経済産業省	http://www.jgfa.or.jp/news/2020/corona/jgfcoronaguideline.pdf http://www.gga.or.jp/data/CT_20200514/0508_ehdfac8-ab18-4a6b-a811-01191c810a5.pdf
13		公益社団法人 全日本ゴルフ練習場連盟	経済産業省	https://www.jgpa.or.jp/wp1907/wp-content/uploads/2020/05/JGRA2020051401ガイドライン（第2版）.pdf
14		公益社団法人 日本テニス事業協会	経済産業省	https://www.jta-tennis.com/2020_05_14_tennis_guideline.pdf
15		一般社団法人 日本アミューズメント産業協会	経済産業省	https://www.jamc.or.jp/news/2020/05/0524/038298c88260d4524a435c8556.pdf

3. 誰へ向けたものか

MICE主催者へ向けたメッセージ

と同時に、運営事業者向けであり、MICE施設向けであり、
開催地・コンベンションビューロー向けでもある

我々が、**主催者の背中を押すために活用**
リアル開催を、こう対策を取ってやりましょう！

4. ガイドライン全体構成

- I. MICE開催の意義・特徴
- II. 感染リスクの洗い出し
 - II.1. 「接触感染」のリスク
 - II.2. 「飛沫感染」のリスク
 - II.3. 集客装置としてのリスク
- III. 参加者の安全対策
 - III.1. 会期前・準備段階
 - III.1.-1 [感染症対策における関係者間での方針策定]
 - III.1.-2 [パブリックアナウンスメント]

4. ガイドライン全体構成

Ⅲ. 2. 会期中

Ⅲ. 2.- 1 [参加登録受付]

Ⅲ. 2.- 2 [クローク]

Ⅲ. 2.- 3 [セッション会場]

Ⅲ. 2.- 4 [併催展示会]

Ⅲ. 2.- 5 [パーティ・懇親会会場]

Ⅲ. 2.- 6 [パブリックスペース（ホワイエ等一般導線等）]

Ⅲ. 2.- 7 [有事対応]

Ⅲ. 3. 会期後

IV. 運営関係者の安全

V. 開催施設への依頼事項

VI. 開催自治体、コンベンションビューローへの依頼事項

VII. 検証と連携体制の構築

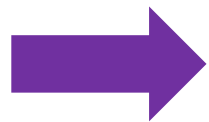
5. ガイドライン概要

①MICE開催の意義・特徴

- ビジネス・イノベーションの機会の創造
- 地域への経済効果
- 国・都市の競争力向上

「MICE = ビジネスイベントが中心」

対象は、不特定多数ではない



主催者は参加者の連絡先を把握可能
 有事の際、参加者に対する事後追跡が容易

②感染リスクの洗い出し

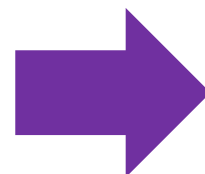
3密対策

- 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
- 密集場所（多くの人が密集している）
- 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）



「接触感染」のリスク

「飛沫感染」のリスク
エアロゾル感染にも留意



これらを踏まえた対策

集客装置としてのリスク

広域から集客、海外参加も見込まれる

③参加者の安全対策

会期前・準備段階

[感染症対策における関係者間での方針策定]

主催者、運営事業者、開催施設等の役割分担・責任範囲を定め、関係者間で共有するとともにそれぞれの組織における**責任者を決定**

延期、中止、オンライン開催を判断する基準・プロセスを定める

新しいテクノロジーやシステム・技術等を活用することにより感染拡大防止に役立てる視点も必要

**参加受付の機械化・無人化・キャッシュレス決済
プログラムへの事前予約制導入
オンライン・バーチャル開催等の仕組み併用 等**

海外からの招聘講演者等に対しては、入国制限に関する最新情報に従い、**オンライン講演へ切り替える**

会場の**所轄保健所、医療機関を把握**する

③参加者の安全対策

[パブリックアナウンスメント]

主催者による感染症拡大防止への取り組み内容と、それに伴う参加者の遵守事項について、WebサイトやSNS等により**開催前早期段階より情報発信**

来場自粛の基準提示

発熱、あるいは咳・咽頭痛などの症状がある場合

過去2週間以内に感染が継続拡大している国・地域への訪問歴がある場合 等

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議提言による**「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」**からなる**基本的な感染対策の徹底**

会期前・会期中・会期後を通じた**感染拡大防止策実施への協力依頼と理解促進**

新たに開発された**接触確認アプリ（COCOA）**を活用する場合、事前に周知

海外からの入国制限に関する、外務省Webサイト等による最新情報の提供

③参加者の安全対策

会期中

対人距離の確保について「できるだけ2m（最低1m）空ける」
 とされたことも踏まえつつ、開催規模・開催施設等の実態を加味

[参加登録受付]

受付に並ぶ参加者の間隔は以下のような対応を講じ、**最低1mの距離を確保**

- ① 一度に入場できる人数を制限
- ② プログラム構成を工夫し、**来場のタイミングを分散化**
- ③ **フロアマーカ**等を使用して参加者を誘導し、**人と人との距離を確保**
- ④ **誘導要員を配置**し、参加者への協力を依頼

検温機器（サーモグラフィー等）や非接触型体温計の配備等

参加者の連絡先（氏名、所属、電話番号、メールアドレス等）を把握し、
 必要が生じた場合**追跡可能な対策**

マスク着用、咳エチケット、手洗い・手指の消毒を要請する。マスク未着用者への 対応のため、**参加登録受付デスクに一定数のマスクを確保**

アクリル板や透明ビニールカーテンにより、参加者と要員との間を遮蔽

コングレスバッグ等、**手渡しによる配付は避け、ご自身でお取りいただく**

③参加者の安全対策

[セッション会場]

聴講者数の見込みをもとに、可能な限り参加者間の**身体的距離を保つことのできるセッション会場を選定**

可動席の場合は前後左右に最低 1 席分以上の間隔を空けて着席するものとし、ホール等**固定席の場合は前後 1 列を空ける**

パネルディスカッション時等の**講演者間や、講演者と聴講者間の距離**も確保

セッション**会場入口で入場制限、中継会場の設置**を検討

会場内の**入退場口を区分**し、入退場者が入り乱れて混在しないよう適切な導線

可能な限り、入退場口等**2つの扉を開放し、会場内の換気**

同時通訳レシーバー等の貸出物については事前に消毒を行う

③参加者の安全対策

[パーティ・懇親会会場]

パーティ・懇親会等を実施する場合は、参加見込み数をもとに**参加者の身体的距離を確保できる広さの会場選定**を行い、**場内換気**にも努める

開催時間の短縮や**屋外スペースの活用**等が可能な場合は活用を検討

出来る限り立食は避け、着席形式での実施を検討

着席形式の場合、テーブル間の距離を確保し、**テーブルあたりの着席人数**も人と人との距離を確保できる人数

buffet形式を極力避け、パッケージされた食事を個別提供する形式や**弁当等での提供**

ネットワーキング時にはマスクの着用を促す

挨拶やアトラクションを行う**ステージと、参加者間の距離は十分に確保**

③参加者の安全対策

[パブリックスペース（ホワイエ等一般導線等）]

混雑が予想される企画、時間帯、場所等を想定し、**待機列等による参加者密集を避ける工夫**を行う
 必要な場合は**人数制限**を行う

開催施設で、同日に複数の催事が開催される場合、登録受付デスクの分散と、それに伴う導線や待機列の分離が必要となるため、事前に調整

運営要員による**誘導案内**等は、**拡声器を活用**

参加者が集まりそうな場所・時間帯を特定し、**分散させるための措置**

案内要員配置

休憩時間中は、**トイレなどの利用者が集中** ⇒ プログラム構成を工夫し分散化
シャトルバスの運行等、多くの参加者が一度に集中が想定される場合、特に注意

適切な場所に、感染拡大防止の取り組みに関する参加者への協力依頼事項をサイン看板等で掲出

③参加者の安全対策

[有事対応]

感染が疑われる参加者・運営関係者が**発生した場合の対応策**を講じる

指定救護室の設置や必要な備品の準備等、あらかじめ、**対応手順について開催施設とも相談し、マニュアル化**しておくことも必要

- ① 参加者・運営関係者が感染を疑われる症状を呈している場合、速やかに**指定救護室へ隔離**
- ② **対応するスタッフは、マスク手袋やフェイスシールド、可能であればガウンを着用**
- ③ 速やかに、医療機関へ連絡し指示に従って対処する。

③参加者の安全対策

会期後

感染が疑われる参加者・運営関係者が発生した場合、保健所等の**公的機関**
による聞き取りに 協力し、必要な情報提供

取得した参加者情報に従い、接触した可能性のある参加者へ情報提供を行い、
感染が疑われる症状が発生した場合、医師の診察を受けるよう案内

個人情報の保護の観点から、**参加者名簿等の保管には十分な対策**を講ずる

④運営関係者の安全

1. 出勤前に、体温測定、自覚症状の確認を行い、運営責任者に情報集約
2. 感染が疑われる症状を呈している場合の連絡・意思決定ルートをあらかじめ定め、それらに基づき自宅待機等の対処
3. 出勤チェックイン時、担当ポジション勤務開始時、トイレ使用後における手洗い・手指の消毒を徹底
4. すべての運営関係者がマスクを着用
5. 参加者との接触感染リスクの高い参加登録受付、クローク担当要員は、手袋を着用
6. 安全安心な運営のために必要な人数を割り出し、ジョブローテーションを工夫
7. 適切な休息の確保や水分補給等健康維持に必要な対応を
8. 現金や参加者のお荷物を扱う者、頻繁に手を洗うことができない者が従事する場所には、手指用の消毒液を配置
9. すべての運営関係者に社会的責任を自覚させ、自身の健康状態を把握させる
10. 運営要員に、十分な栄養摂取と睡眠確保を心がける等の健康管理を促す
11. 運営マニュアルに、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議から示された「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(2020年5月4日)の中の「業種ごとの感染拡大予防ガイドラインに関する留意点」等を掲載する等、運営要員のリテラシー向上に努める

⑤開催施設への依頼事項

参加者にとっても、主催者、運営関係者にとっても、安全安心なMICE運営が実施できるよう開催施設に対して協力を仰ぐなど、緊密に連携

1. 主催者・関係者との協議
 開催にあたっての**主催者、運営事業者との事前打合せ**
 同日に同じ施設で複数の催事が開催される場合の、登録受付の設置場所、導線・待機列の分離等
2. 施設内の**清掃・消毒の頻度を高め**、触る機会の多い物品は可能な限り取り除く
3. 手指用の**消毒液**を施設エントランスや手の届きやすい場所、トイレ等への設置
4. **検温機器（サーモグラフィー等）や非接触型体温計等の配置**
5. 休憩スペース等のテーブル・椅子・タッチ式の案内パネル等不特定多数が共用する物品や箇所・機材等の**定期的な消毒の実施**
6. 各日のプログラム終了後の会場貸出の**使用機材・備品等の消毒**（マイク、演台・司会台等）
7. 施設内の**空気循環**
8. 密閉空間や飛散の防止
 換気の悪い密閉空間、多くの人々が密集する場所を避けるため、**喫煙所の閉鎖**
 飛散防止のため、**トイレ内のハンドドライヤーの運転停止**
9. 施設**従業員のマスク着用**
10. 医療機関、保健所の確認
 最寄りの**医療機関や所轄保健所の連絡先の確認**
11. **救護室の設置**

⑥開催自治体、コンベンションビューローへの依頼事項

- ・ MICEが開催され、**参加者が県境や国境を越えて参加を予定することについての理解**を得ておきます。
- ・ 安全安心なMICE運営の実施を心掛けることに對し、開催機運の醸成や、**開催地としての協力や支援を依頼**
- ・ 自治体作成のガイドラインがある場合、本**ガイドラインとの整合**を図る

⑦検証と連携体制の構築

主催者の皆様が、安心してMICEを開催できるための、JCMAの取り組み

- JCMA会員の関わった、安全安心なMICE運営に資すると認められる事例、運営方法の再検討が必要であった**事例等を協会にて集約**
- 必要に応じて**会員あてに情報提供**し、会員の運営ノウハウの向上及び平準化と、感染症対策についての意識の持続を図る
- **他のMICE関連団体との連携による情報共有**

そしてこれらを、**安全安心なMICE開催に資する運営方法として蓄積し、本ガイドラインの改訂時に反映**

6. 最後に_ウィズコロナのMICE運営

ガイドライン遵守 → カネがかかる

主催者として、やり方はわかった

でも、その通りやる予算がない、、

アクリル板、マスク、デジタルツールなどの手配が追加
会場キャパシティが減ることで使用会場増える
それに伴い、機材費も人件費も増加・・・・・・・・等

どのように開催するのか
どこまで導入するか



予算配分の再検討

運営事業者、MICE施設、コンベンションビューローの
コンサルティング・提案が、今ほど求められる時はない！

■ JCMA 会員 入会のご案内 ■

それぞれの企業パワーを結集し、日本のコンベンション業界を、世界のどの国よりも誇れるものとするために、JCMAは、全国から広く会員を募集します。

会員種別	年会費
正 会 員(コンベンション関連企業・施設など)	¥60,000
特 別 会 員(行政機関・自治体・コンベンションビューローなど)	無 料
アカデミア会員(法人)	¥20,000
アカデミア会員(個人)	¥10,000

是非、我々と一緒に活動しましょう！